

主催：日本食品化学学会・日本食品微生物学会・日本食品衛生学会  
共催：JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社

ifia JAPAN 2018 食の安全・科学フォーラム 第17回セミナー&国際シンポジウム  
東京オリンピック・パラリンピックに向けた食品のトータルな安全管理  
Mission of Food Safety for TOKYO 2020

日時：平成30年5月16日（水） 10時00分～16時50分（受付開始9時30分）  
場所：東京ビッグサイト 会議棟6階605・606  
定員：250名（事前申し込み締め切り 5月7日）  
受講料：事前申し込み（主催学会・共催団体会員）\*弁当付き 9,500円  
          事前半日（午前または午後）（主催学会・共催団体会員） 6,000円  
          事前申し込み一般 \*弁当付き 14,000円  
          事前半日（午前または午後） 8,000円  
          当日申し込み（会員割引、弁当なし） 18,000円

プログラム（予定）：

10:00-10:02 総合司会挨拶 日本食品衛生学会代表 宮下 隆 氏  
10:02-10:05 主催者代表挨拶 日本食品化学学会代表 穂山 浩 氏

第一部 フードテロ対策の国際動向（質疑応答は随時）

座長 国立医薬品食品衛生研究所 穂山浩氏  
10:05-10:35 米国食品安全強化法（FSMA）に対応した食品防御計画構築に向けた、脆弱性  
評価事例の紹介  
NPO 法人 バイオメディカルサイエンス研究会 江藤 諒 氏  
10:35-11:05 我が国の食品防御の取組  
農林水産省消費・安全局 山野 淳一 氏  
11:05-12:05 ロンドン2012での食品安全について \*逐次訳  
英国食品基準庁 ジェニー・モリス 氏

昼休み（事前全日申し込み者弁当有）

\*東1,2ホール展示場にお寄りください。

第二部 オリンピック・パラリンピックを見据えた現場の食品安全対策

座長 食品産業センター 富松徹氏  
13:30-14:20 HACCP 制度化の動向と日本食品衛生協会の取組  
公益社団法人 日本食品衛生協会 桑崎 俊昭 氏  
休憩  
14:30-15:10 小売業における食品安全対策について  
イオンリテール（株） 岸 克樹 氏  
15:10-15:50 マルハニチログループのフードディフェンスの取り組み  
マルハニチロ（株） 中原 千秋 氏  
15:50-16:30 食中毒事例での発生要因解析から見える食中毒防止対策  
国立医薬品食品衛生研究所 工藤 由起子 氏  
16:30-16:40 質疑応答 午後の部  
16:40-16:50 閉会挨拶 日本食品微生物学会代表 工藤 由起子 氏

お申し込み：<http://www.ifiajapan.com>

お問い合わせ事務局：（株）食品化学新聞社 今立、森下 TEL 03-3238-7828